

# 2021年3月期決算 投資家向け説明会

2021年5月14日

ソフトバンクグループ株式会社



## 免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「あるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」（[https://group.softbank/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

## 商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

## 重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

## 本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）、SBLA Advisers Corp.（以下「SBLA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、それぞれSBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」または「SVF1」）とSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」または「SVF2」）を含み、また、SBLAとその関係会社によって運用されているSoftBank Latin America Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」または「LatAm Fund」）を含みます。SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社（SBIAを含む）、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBIA及びSBLAは、SBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを運用しており、ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2を含むSBIAによって運営されているSBファンドはSBIA単独で運営され、またラテンアメリカ・ファンドはSBLA単独で運営されています。

## 本資料における為替換算レート

期中平均レート	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4
1米ドル	110.00	107.70	108.98	109.22	107.74	105.88	104.45	106.24
1人民元	16.13	15.37	15.46	15.56	15.16	15.27	15.71	16.31
期末レート	2019/6月末	2019/9月末	2019/12月末	2020/3月末	2020/6月末	2020/9月末	2020/12月末	2021/3月末
1米ドル				108.83				110.71
1人民元				15.31				16.84

## 略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF 1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド 1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF 2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド 2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.および代替の投資ビークル
ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド	SoftBank Latin America Fund L.P.
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
スプリント	Sprint Corporation
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
アーム	Arm Limited
アリババ または Alibaba	Alibaba Group Holding Limited
WeWork	WeWork Inc.

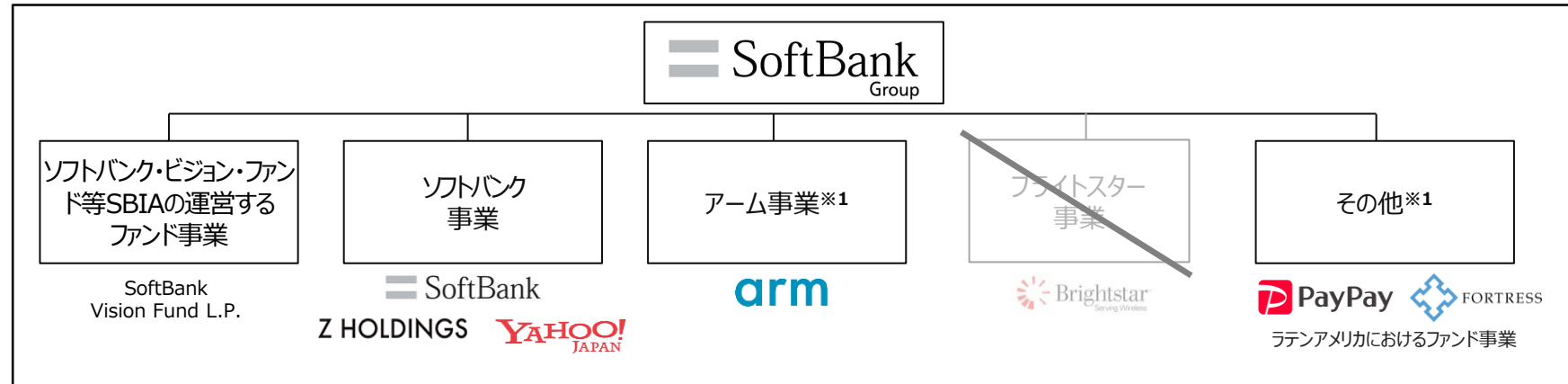
# 經理編

(億円)	FY19	FY20	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>52,389</b>	<b>56,282</b>	<b>3,893</b>	<b>7.4%</b>
<b>税引前利益</b>	<b>500</b>	<b>56,705</b>	<b>56,205</b>	<b>—</b>
<b>当期純利益</b> (親会社所有者帰属分)	<b>-9,616</b>	<b>49,880</b>	<b>59,496</b>	<b>—</b>
(参考)				
投資損益合計	<b>-14,102</b>	<b>75,290</b>	<b>89,392</b>	<b>—</b>
持株会社投資事業	4,843	9,459	4,616	95.3%
SVF1およびSVF2	-18,449	62,920	81,369	-
その他	-496	2,910	3,406	-

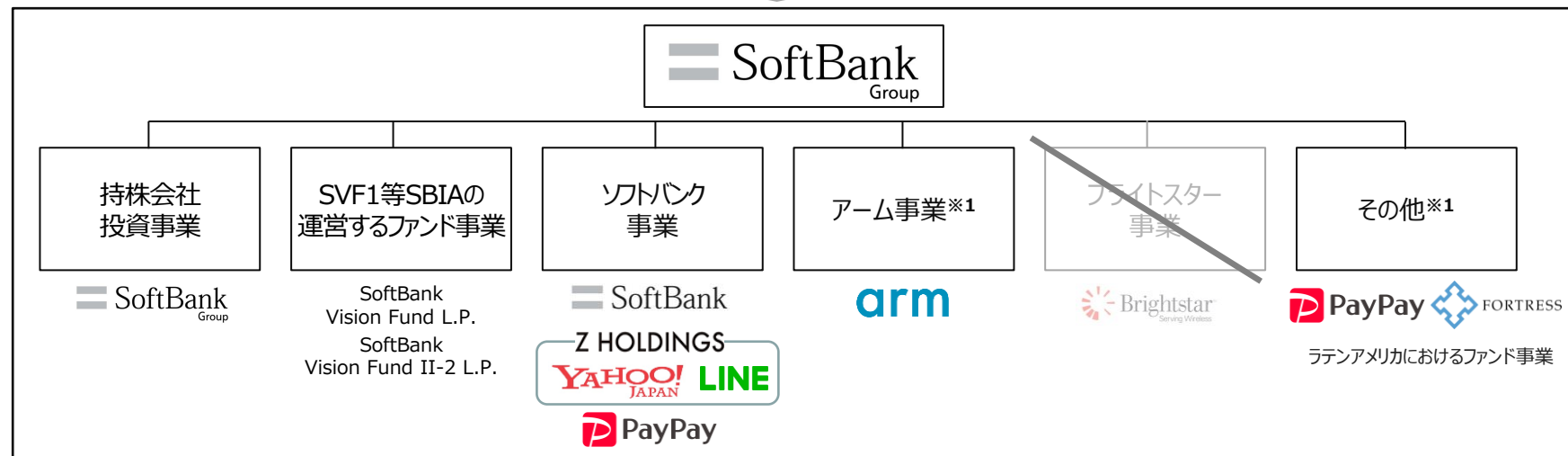
# 報告セグメントの変更

- Q1に「持株会社投資事業」を報告セグメントとして新設。報告セグメントの利益を「税引前利益」に変更
- Q2に「ブライトスター事業」を除外。「ソフトバンク・ビジョン・ファンド等SBIAの運営するファンド事業」を「SVF1等SBIAの運営するファンド事業」へ名称変更
- Q4にZホールディングスとLINEが経営統合

FY19

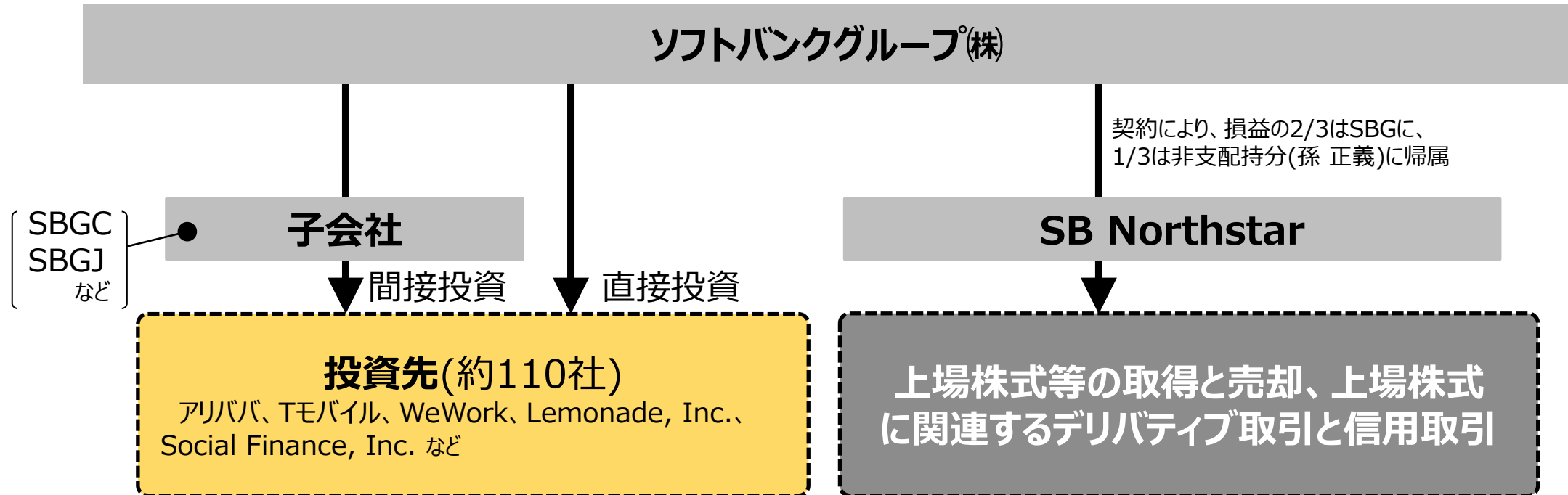


FY20



※1 アーム事業のうち、IoTに関連するサービスグループ（ISG事業）の分離・移管の決定に伴い、FY20、FY19のアーム事業の業績からISG事業を除く。ISG事業の業績はその他に含む

- 主な事業内容: ソフトバンクグループ(株)およびその子会社による投資事業
- 主な会社: ソフトバンクグループ(株)、SBGC、SBGJ、SB Northstar



# セグメント利益 – 持株会社投資事業

P/L項目	FY19	FY20	摘要	(億円)
<b>投資損益</b>	<b>4,843</b>	<b>9,461</b>		(億円)
Tモバイル株式売却関連損益	-	4,218	①Tモバイル株式売却益 2,803億円 ②引き続き保有するTモバイル株式に係る再測定益 2,960億円 ③Deutsche Telekom AG(ドイツテレコム)が受領した当社保有Tモバイル株式の購入オプションに係るデリバティブ関連損失 1,545億円	
アリババ株式先渡売買契約決済益	12,185	-		
資産運用子会社からの投資の売却による実現損益	-	-206	SB Northstar(資産運用子会社)からの投資の売却による実現損失(上場株式への投資)	
資産運用子会社からの投資の未実現評価損益	-	1,342	SB Northstarからの投資の未実現評価利益(上場株式等への投資)	
資産運用子会社からの投資に係るデリバティブ関連損益	-	-6,107	SB Northstarにおいて主に上場株式に係るコールオプションや売建株価指数先物取引に係る損失	
投資の売却による実現損益	178	2,222	FY20: SBGからの上場株式への投資の実現利益 2,220億円	
投資の未実現評価損益	-6,907	6,084	FY20: ・引き続き保有するTモバイル株式に係る未実現評価益 2,196億円(6月26日からFY20末まで) ・以下の銘柄について未実現評価益をそれぞれ計上 Social Finance, Inc.: 1,244億円、Lemonade Inc.: 730億円、Berkshire Grey Inc.: 495億円 ・SBGからの上場株式への投資に係る未実現評価益 423億円	
投資に係るデリバティブ関連損益	-663	1,858	FY20: 条件付対価(スプリント/T-Mobile US, Inc.合併取引の対価として受領した一定の条件を満たした際にTモバイル株式を無償で取得できる権利)の公正価値の上昇 2,644億円	
その他	50	50		
販売費及び一般管理費	-751	-1,023		
財務費用	-1,985	-2,186	主に2020年4月から8月にかけて資金調達を行う100%子会社がアリババ株式を利用した複数の先渡売買契約を金融機関との間で締結して資金調達を行った結果、支払利息が増加	
持分法による投資損益	6,572	6,014	FY19: アリババによるAnt Financial* <sup>1</sup> 株式取得に伴う利益 2,772億円 FY20: アリババの持分法投資利益 5,725億円 (アリババに課された独占禁止法違反の罰金を、期間差における重要な事象としてFY20Q4に費用計上したことに伴う持分法投資利益の押し下げ: -724億円)	
デリバティブ関連損益(投資損益を除く)	-19	-4,775	FY20: 2019年11月と2020年4~8月に締結のアリババ株式の先渡売買契約に関するデリバティブ関連損失 5,040億円(2020年10月・11月の契約変更による影響を含む)	
その他の損益	477	119		
<b>セグメント利益(税引前利益)</b>	<b>9,137</b>	<b>7,609</b>		

\*1 Ant Small and Micro Financial Services Group Co., Ltd. (現 Ant Group Co., Ltd)



# Tモバイル株式の一部売却と期末評価

FY20Q1の①②売却で1兆8,304億円、Q2の③④売却を加えFY20Q2累計で**2兆997億円**を受領

	株式数 (百万株)	比率*1	売却 総額 (百万米ドル)	売却 日	P/L (FY20) (億円)					FY20末 B/S影響
					Tモバイル株式売却関連利益			FY20末評価		
					売却損益	残存株式の 再測定益	デリバティブ 関連損益	評価損益	デリバティブ 関連損益	
売却前	305	24.7%								
①公募売却	-154	-12.5%	15,877	6/26	2,803					(資産) ・⑤⑥の株式→「投資有 価証券」に計上(1.47兆 円) ・⑦「デリバティブ金融資 産」に計上(4,607億円) 4/1計上1,963億円 + FY20 末までの公正価値の変動 2,644億円
②私募売却	-19	-1.6%	1,667							
③マルセロ・クラウレへの 売却	-5	-0.4%	515	7/16	-31		30 (デリバティブ 負債認 識中止)		-368	(負債) ⑤「デリバティブ金融負債」 に計上(2,048億円) 6/26売却時のデリバティブ関 連損失 -1,543億円 + FY20 末までの公正価値の変動 -420億円+為替影響
④ライツ・オフアリング	-20	-1.6%	2,034	8/3						
小計	106	8.6%				2,960		2,196		
⑤ドイツテレコムへの株式 購入オプションの付与	-101	-8.2%								
⑥ ⑤を除く所有株式	5	0.4%								
			(売却対象外)							
⑦条件付対価	+49	-							2,644	
⑦を取得した場合の合計	54	-							4/1からFY20末 までの変動	

合計4,218億円

\*1 2020年4月1日時点のTモバイルの発行済株式総数(自己株式除く)に対する比率

※2020年7月30日、SBG100%子会社が保有するTモバイル株式を担保に43.8億米ドルの借入れ(マージン・ローン)を実施

# 上場株式等への投資について

- 保有資産の多様化と余剰資金の運用を目的に、当初はSBGが直接投資。Q2から資産運用子会社のSB Northstarが受け継ぎ活動
- SB Northstarは上場株式等の取得と売却、上場株式に関連するデリバティブ取引と信用取引を実施
- 計上科目は以下の通り

## SBG (FY20Q1~)

B/S	<b>非流動資産</b> 投資有価証券
P/L	<b>持株会社投資事業からの投資損益</b> ・投資の売却による実現損益 ・投資の未実現評価損益
C/F	<b>投資活動によるC/F</b> ・投資の取得による支出 ・投資の売却または償還による収入

## SB Northstar (FY20Q2~)

B/S	<b>流動資産</b> ・資産運用子会社からの投資（株式） ・資産運用子会社における担保差入有価証券 ・資産運用子会社におけるデリバティブ金融資産 ・その他の金融資産(差入証拠金、拘束性預金)
B/S	<b>非流動資産</b> ・その他の金融資産（資産運用子会社からの投資（転換社債）） ※繰り返し売買を行う見込みがないため
	<b>流動負債</b> ・資産運用子会社におけるデリバティブ金融負債 ・その他の金融負債(借入有価証券)
P/L	<b>持株会社投資事業からの投資損益</b> ・資産運用子会社からの投資の売却による実現損益 ・資産運用子会社からの投資の未実現評価損益 ・資産運用子会社からの投資に係るデリバティブ関連損益
C/F	<b>営業活動によるC/F</b> →SB Northstarは主たる事業として有価証券の売買を繰り返し行うため、 同社による投資は営業C/Fに計上 <b>投資活動によるC/F</b> →繰り返し売買を行う見込みのない転換社債の取得は投資C/Fに計上

# 上場株式等への投資におけるB/SとP/L(投資損益)への主な影響

(億円)

投資元	投資種別	連結B/S 計上科目	連結B/S残高 (マイナスは負債)	連結P/L 計上科目	連結P/L 計上額				
			FY20末		Q1	Q2	Q3	Q4	FY20
SBG	現物株式	投資有価証券	155	投資の売却による実現損益	645	1,028	406	141	2,220
				投資の未実現評価損益	209	757	△416	△127	423
	現物株式等	資産運用子会社からの投資	7,553	資産運用子会社からの投資の売却による実現損益	-	△81	△843	718	△206
		資産運用子会社における担保差入有価証券	14,273	資産運用子会社からの投資の未実現評価損益*2	-	△951	2,008	284	1,341
信用取引	借入有価証券	*1 △87							
SB Northstar	上場株式に係る 買建コールオプション	資産運用子会社におけるデリバティブ金融資産	1,766						
		資産運用子会社におけるデリバティブ金融負債	△93						
	デリバティブ	売建株価指数先物取引	-	資産運用子会社からの投資に係るデリバティブ関連損益	-	△2,923	△2,853	△331	△6,107
		上場株式に係るトータル・リターン・スワップ取引	71						
		資産運用子会社におけるデリバティブ金融負債	△54						
		上場株式に係るフォワード契約	44						
				<b>持株会社投資事業からの投資損益</b>	<b>854</b>	<b>△2,170</b>	<b>△1,698</b>	<b>685</b>	<b>△2,329</b>
				非支配持分に帰属する投資損益*3	-	1,318	563	△223	1,658
				<b>親会社の所有者に帰属する投資損益*4</b>	<b>854</b>	<b>△852</b>	<b>△1,135</b>	<b>462</b>	<b>△671</b>

\*1 売建信用取引で借り入れた有価証券の公正価値

\*2 内部取引控除後

\*3 SB Northstarの投資損益の33%

\*4 販売費及び一般管理費や税金費用などの影響を含まない

# SB Northstarのデリバティブ価格感応度(FY20末時点)

SB Northstarにおける上場株式の取得および売却に係るオプション、トータル・リターン・スワップおよびフォワード契約において、他のすべての変数が一定であると仮定した上で、原資産の市場価格が2021年3月31日から変動した場合の税引前利益に与える影響は、以下の通り (億円)

	期末日時点の 公正価値 (マイナスは負債)	市場価格 変動の仮定	仮定考慮後の 見積公正価値 (マイナスは負債)	税引前利益への 影響	想定元本
資産運用子会社における 上場株式に係る 買建コールオプション	1,766	30%増加	5,254	3,487	14,820
		10%増加	2,754	988	
		10%減少	1,044	-722	
		30%減少	271	-1,495	
資産運用子会社における 上場株式に係る 売建コールオプション	-93	30%増加	-602	-509	-2,979
		10%増加	-205	-112	
		10%減少	-33	59	
		30%減少	-1	91	
資産運用子会社における 上場株式に係る トータル・リターン・スワップ取引	17	30%増加	863	847	2,806
		10%増加	299	282	
		10%減少	-266	-282	
		30%減少	-830	-847	
資産運用子会社における 上場株式に係る フォワード契約	44	30%増加	82	38	83
		10%増加	56	13	
		10%減少	31	-13	
		30%減少	6	-38	

# 2019年10月および当期に当社とWeWorkが合意した内容とその進捗

15億米ドルの既存コミットメント	当初行使価格110.0米ドル/株を11.60米ドル/株に引き下げ、早期支払い	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年10月、15億米ドルを全額払込み。</li> <li>2019年11月に2億米ドル、2020年4月に残り13億米ドルをそれぞれWeWork優先株式に転換済</li> </ul>	
公開買付け	最大30億米ドルを買付価格19.19米ドル/株で公開買付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年11月に公開買付けを開始も、期限までに完了に必要な条件のうち複数が必要が充足されなかったとして、2020年4月に公開買付けを取りやめ</li> <li>取りやめとなった公開買付けに関する訴訟を解決するために、①We Holdings(アダム・ニューマン氏の関係持株会社)から2021年2月に実施した相対取引で、②その他の一部WeWork株主から同年3月に開始し同年4月に完了した公開買付けで、WeWorkの普通株式・優先株式を1株当たり19.19米ドルで買い取り(買取総額は15億米ドル)。</li> </ul>	
クレジットサポートとWeWork発行債券の買い受け	a)金融機関から対WeWork支払保証枠17.5億米ドルへのクレジットサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>a)とb)の契約対価として0.01米ドル/株で優先株式を取得可能なワラントを受領</li> <li>当期末現在、b)のうち18億米ドルを買い受け済</li> </ul>	<p>WeWorkとBowXの合併取引に関する合意に合わせて、当社はWeWorkおよびBowXと以下に合意</p> <p>①保有するWeWork優先株式をBowXとの合併時に合併会社の普通株式に転換・交換すること</p> <p>②a)は金融機関が延長に応じることを前提に、連帯債務者としてのクレジットサポートを2024年2月まで1年間延長すること</p> <p>③c)は最大5.5億米ドルに修正した上で、2023年2月12日(または本合併取引完了から18カ月間のいずれか早い日)まで担保付シニア債券を買い受けること</p> <p>上記①と②の対価として0.01米ドル/株で(調整あり)合併会社の普通株式を取得可能なワラントを完了時にそれぞれ受領する予定</p>
	b)無担保債券 最大22億米ドル		
	c)担保付シニア債券 最大11億米ドル	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年8月に契約を締結も、当期末現在発行実績なし</li> </ul>	
SVF1保有JV株式の交換	SVF1保有のWeWorkJV株式をWeWork優先株式に交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年4月、WeWork Asia株式を11.60米ドル/株で交換完了。WeWork China株式の交換は取りやめ</li> </ul>	

# WeWork投資用100%子会社からWeWorkへの投融資 -1

## 資本性

(百万米ドル)

種別	累計 投資額	累計 損益	連結財政状態計算書			連結損益計算書				
			計上科目	帳簿価額 (△は負債)		計上科目	損益額			
				前期末	当期末		前期	当期		
普通株式	内訳 省略	内訳 省略	投資有価証券	-	-	FVTPLの金融商品から 生じる損益	△417	-		
			持分法で会計処理 されている投資	14	173	持分法による投資損益	△40	△109		
その他の損益						△113	△307			
優先株式			2019年10月に支払った15億米ドルのうち、前期末時点でWeWork優先株式へ転換前の13億米ドルWeWork優先株式が取得可能なワラント(行使前) 合併会社普通株式が取得可能なワラント(行使前)	内訳 省略	投資有価証券	885	1,521	FVTPLの金融商品から 生じる損益	△3,213	112
その他の金融資産					406	-	△894		-	
デリバティブ 金融資産					165	26	投資に係るデリバティブ 関連損益	△703	△22	
					-	126		-	126	
デリバティブ 金融負債					-	△694	デリバティブ関連損益 (投資損益を除く)	-	△166	
							投資に係るデリバティブ 関連損益	-	△528	
合計	6,580	△6,292		1,470	1,152		△5,380	△894		



# WeWork投資用100%子会社からWeWorkへの投融資 -2

## 負債性

(百万米ドル)

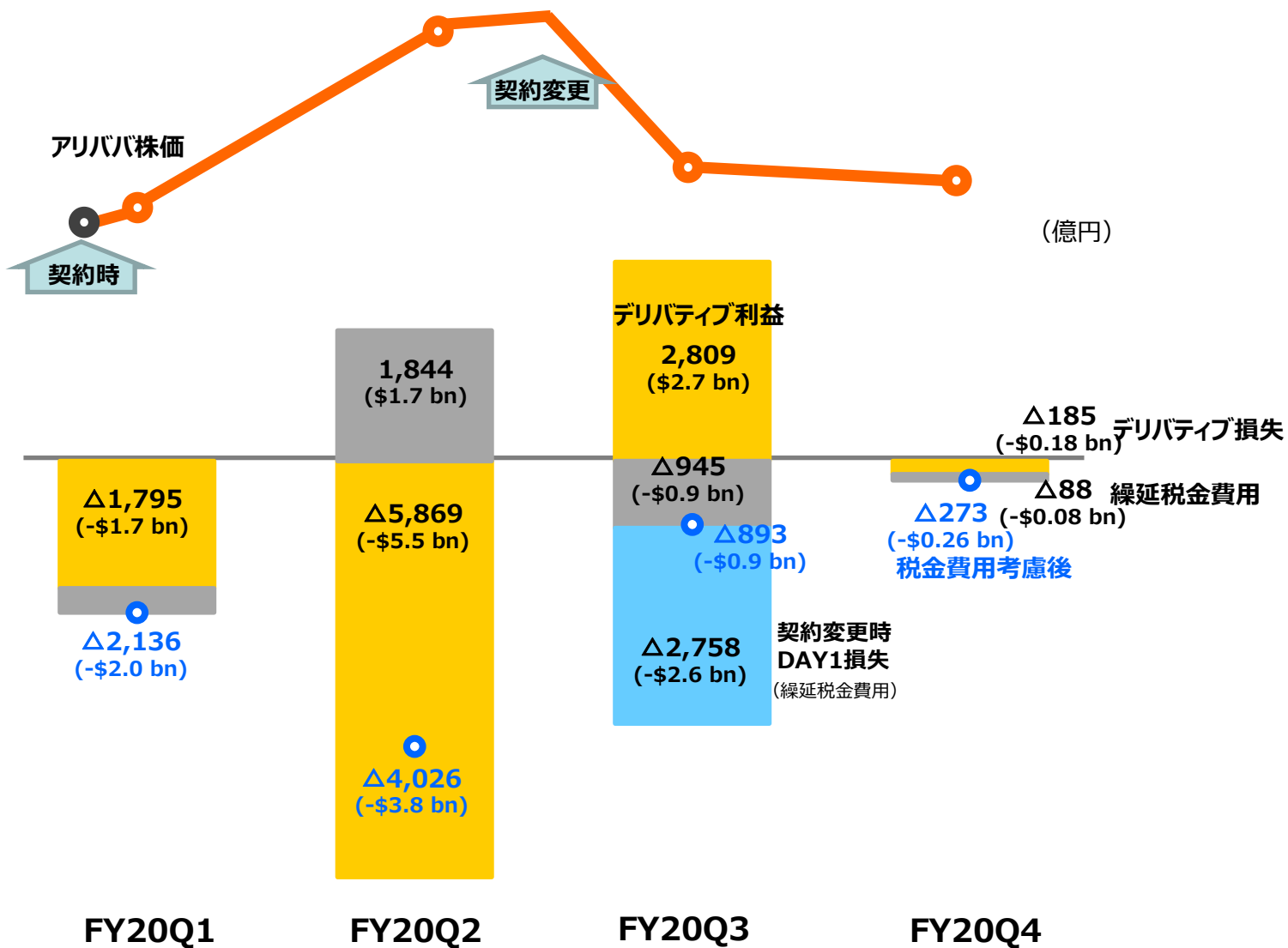
種別	累計 融資額	累計 損益額	連結財政状態計算書			連結損益計算書		
			計上科目	帳簿価額 (△は負債)		計上科目	損益額	
				前期末	当期末		前期	当期
無担保債券の買い受け	1,800	44	その他の金融 資産	-	1,173	その他の損益	-	44
ローンコミットメントに係る負債	-	△256	その他の金融 負債	△1,334	△92		△826	570
金融保証契約に係る負債	-	140		△819	△220		△459	599
合計	1,800	△72		△2,153	861		△1,285	1,213

(注) 金融保証契約およびローンコミットメントに係る損失評価引当金は、連結財政状態計算書上「その他の金融負債」に計上しています。金融保証契約およびローンコミットメントに関する契約の締結の対価として当社は1株当たり0.01米ドルでWeWorkの優先株式に転換可能なワントを取得したため、契約締結時には連結損益計算書に金融保証契約およびローンコミットメントに係る損益を計上していません。その後、同社の信用リスクが悪化したことから、前期末に損失評価引当金繰入額を計上しました。当期においては同社の信用リスクが改善したことなどにより、損失評価引当金戻入益を計上しています。ローンコミットメントに係る負債については、WeWork投資用100%子会社が無担保債券の買い受け時に、相応額を「その他の金融負債」から取り崩し、「その他の金融資産」として計上される貸付金の当初認識額から控除しています。無担保債券は貸付金の当初認識時から規則的な償却をしています。金融保証契約に係る負債については、保証を開始した前期第4四半期途中から規則的な償却をしています。

## (参考) 当社評価におけるWeWork株式全体の公正価値

20年3月末	6月末	9月末	12月末	21年3月末
29億米ドル	29億米ドル	29億米ドル	22億米ドル	38億米ドル

# アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ関連損益



## (P/L影響額)

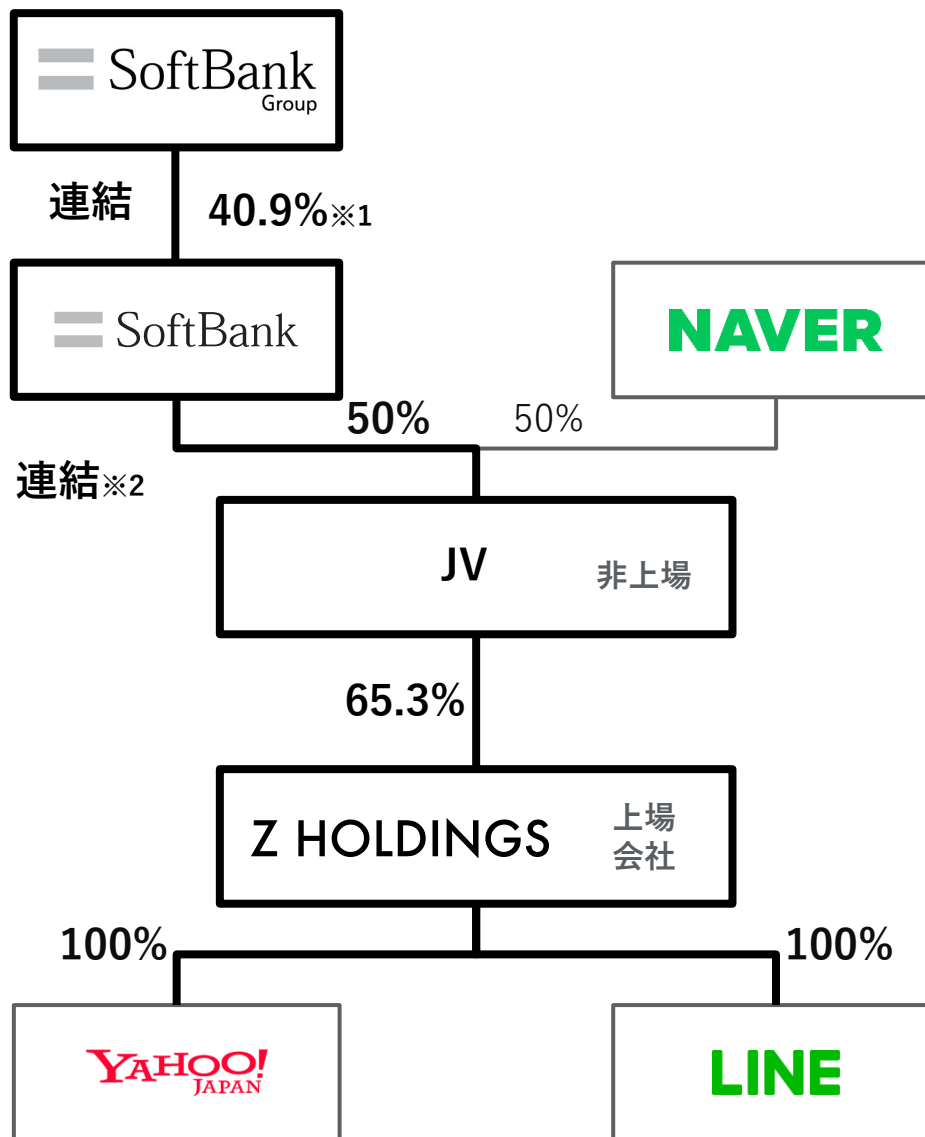
(億円)	FY20 累計
税前提益	△5,040 (-\$4.7B)
純利益	△7,329 (-\$6.8B)

## (アリババ株式先渡売買契約に係るB/S計上額)

(億円)	FY19末	FY20末
デリバティブ資産	50	7,037
デリバティブ負債	-	△281
純額 (△負債)	50	6,756
株式先渡契約金融負債	1,961	30,857



# ZホールディングスとLINE経営統合完了後のストラクチャー



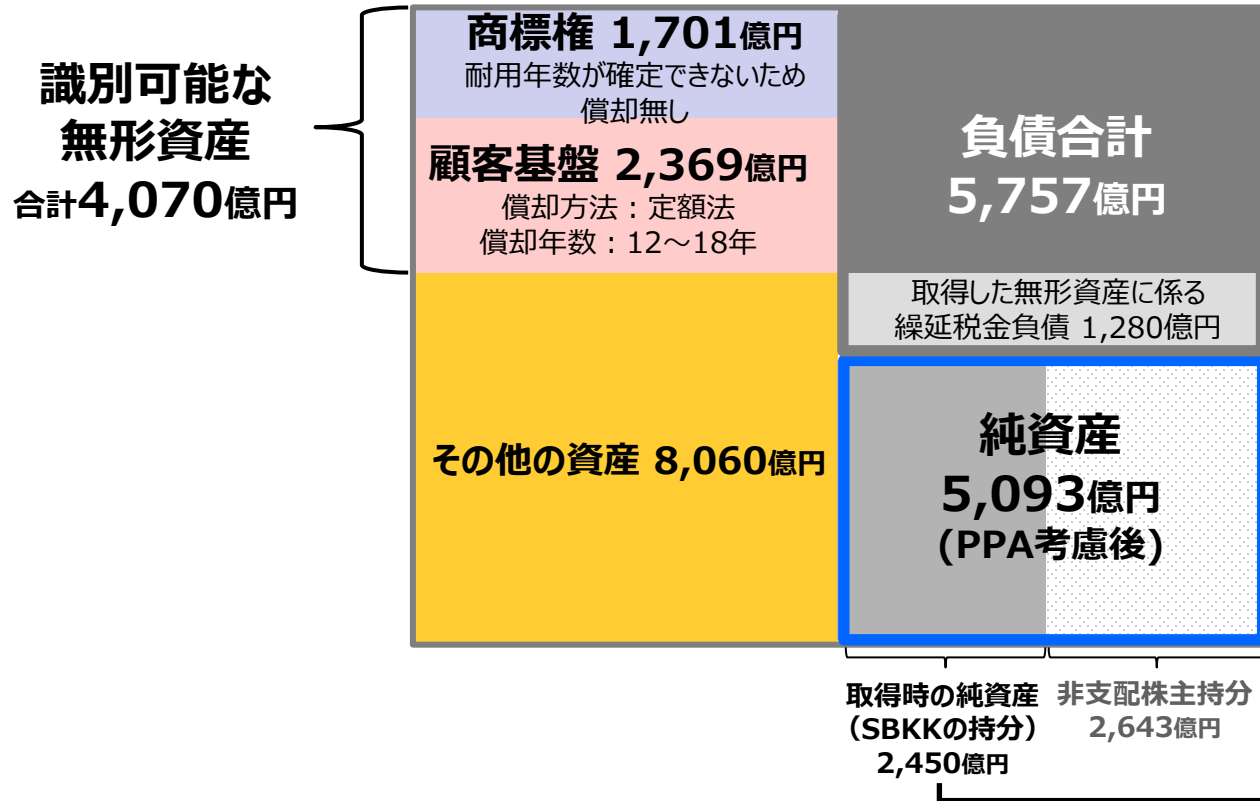
\*図は一部省略または簡略化

\*1 2021年3月末の持分

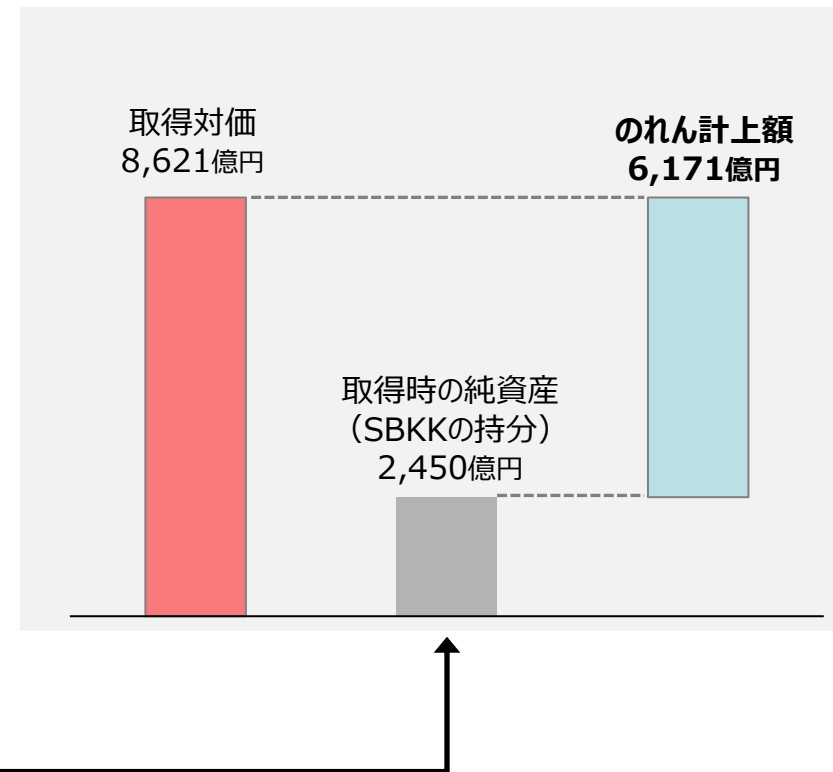
\*2 SBKKがJV取締役会の過半の指名権を保有(5名中3名)

**識別可能な無形資産：合計4,070億円**  
**のれん：6,171億円**

※現時点での最善の見積りによる公正価値であるため、支配獲得日時点で存在していた事実や状況に関する追加的な情報が得られ評価される場合には、支配獲得日から1年間は修正される可能性あり



**取得対価とのれん計上額**



# アーム全株式の売却契約の締結 – 概要

- 2020年9月、アーム全株式のNVIDIAへの売却に合意
- 当社はNVIDIA株式の約6.7～8.1%を保有見込み: NVIDIAの筆頭株主として、NVIDIA株価上昇時はさらなるアップサイドを享受可能

(億米ドル)

取引価値		内容	受領時期
120	20	現金12.5: SBGCが売却対価の前受金として受領	FY20Q2 (2020年9月に受領)
		現金7.5: アームがライセンス契約の対価として受領	
	100	現金: SBGC/SVF1が受領	クロージング時
215 ±α	<b>NVIDIA株式 4,437万株:</b> SBGC/SVF1が受領	当社が受領する NVIDIAの株式数は同株価 <b>484.60米ドル/株</b> に基づく  参考:2021年5月12日終値 550.34米ドル/株	
最大50 ±α*1	<b>NVIDIA株式 最大1,032万株または現金</b> アームのFY21売上高とEBITDA*2の目標値達成を条件に SBGC/SVF1が受領(アーンアウト)		
計 385 ±α		<b>当社受領対価</b>	
	15	アームの従業員へのNVIDIA株式報酬	クロージング時
合計 400 ±α			

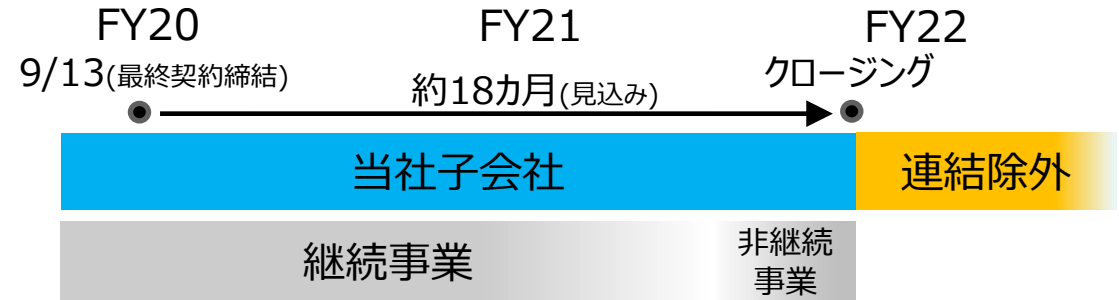
- ✓ 当社受領対価はSBGC/SVF1でアーム株式保有割合に応じ75.01%/24.99%の割合で受領
- ✓ SVF1の手取金はウォーターフォールに基づき当社を含むSVF1のリミテッド・パートナーに分配

\*1 株式で受領した場合

\*2 それぞれ一定の調整後。ISG事業帰属分を除く

# アーム全株式の売却契約の締結 – 経理処理

- ・アームは引き続き**継続事業**（規制当局の承認を得るなどクロージングの蓋然性が非常に高いと判断されるまで）
- ・クロージング時、アームは**連結対象から除外**：クロージングまでは最終契約締結から約**18カ月**を見込む



	当社連結		SVF1セグメント*
<b>継続事業</b> (クロージングの蓋然性が非常に高いと判断されるまで)	アーム業績100%取り込み	のれんの減損テスト	アーム株式の公正価値の変動24.99%(SVF1保有分)を <b>投資損益に計上→連結P/L上は消去</b> (アームは当社子会社のため)  (参考) 同変動分はウォーターフォールを通じて連結P/Lの「SVF1における外部投資家持分の増減額」には計上
<b>非継続事業</b>		資産・負債を売却目的保有の処分グループへ分類する際、 <b>公正価値か簿価の低い方の金額で測定</b>	
<b>クロージング時</b>	受領対価と簿価の差額を <b>支配喪失利益</b> として「非継続事業からの純利益」に計上		
<b>連結除外後</b>	受領するNVIDIA株式をFVTPLの金融資産に計上→ <b>公正価値の変動を純損益で認識</b>		

\*SVF1等SBIAの運営するファンド事業

Special Purpose Acquisition Company (SPAC)は既存の事業会社との企業結合を目的とした投資ビークル

- SponsorであるSBG子会社が少額の資本金でSPACを設立し、Sponsorが合併後企業の持分の～20%を保有できるように設計された創業者株式およびワラントをSPACが発行 **(少額の投資で合併後企業の～20%持分の取得が可能)**
  - ①企業結合資金の調達のために上場 (IPO) し、合併対象会社の選定を開始
  - ②合併対象会社の特定完了 (IPO後19カ月後まで)
  - ③合併 (De-SPAC) の完了 (IPO後24カ月後まで)
- 既存の事業会社としては、伝統的なIPOに比べて短期間で実質的に上場できるというメリットがある。

2021年3月末現在

	①IPO済/合併対象会社の選定開始	②合併対象会社の特定完了	③合併 (De-SPAC) の完了
SB Investment Advisers (UK) ("SBIA")	3社	—	—
ラテンアメリカにおける ファンド事業子会社	1社	—	—
フォートレス	3社	1社	1社
合計	7社	1社	1社

SPACは連結子会社

合併後のSPACは  
連結から除外

FY20のSBG子会社SPAC(9社) IPO調達資金総額：3,304百万米ドル

SBIA 1,154百万米ドル  
 ラテンアメリカにおけるファンド事業子会社 230百万米ドル  
 フォートレス 1,920百万米ドル (うち、De-SPAC済の1社の調達額 345百万米ドル)

## 連結子会社のSPAC8社のFY20連結財務諸表への影響

- 調達資金は、SPACの合併、もしくは市場投資家への出資持分の返還に対してのみ使用可能
- SPACが合併を完了するまで、もしくは市場投資家に償還されるまでの期間信託口座に預託され、流動性の高い金融商品による運用のみに利用が制限
- SPACが上場から24カ月の間にDe-SPACできなかった場合、SPACが運営を停止し、市場投資家へ出資金の全額を償還 (SPAC運営コストはSponsorが負担)
- SPAC初回合併完了時に、市場投資家が出資額の一部または全部の償還を要求できるオプションが付与  
 →条件付きで現金の償還義務を負うことから、IFRS上、“資本”ではなく“負債”として認識

(単位：百万円)

資産	当期末
その他の金融資産 (非流動) SPACにおける信託口座	327,569

(単位：百万円)

負債	当期末
その他の金融負債 (非流動) 償還オプション付非支配持分	298,092

## 連結除外SPAC 1社のFY20連結財務諸表への影響

- 連結除外された時点で、スポンサーが保有する株式の価値上昇分を利益として認識 (13,516百万円)

# 連結P/L総括 IFRSベース

P/L項目	FY19	FY20	増減
<b>継続事業</b>			
売上高	52,389	56,282	+3,893
売上総利益	26,547	28,749	+2,202
投資損益			
持株会社投資事業からの投資損益	+4,843	+9,459	+4,616
SVF1およびSVF2等からの投資損益	-18,449	+62,920	+81,369
その他の投資損益	-496	+2,910	+3,406
<b>投資損益合計</b>	<b>-14,102</b>	<b>75,290</b>	<b>+89,392</b>
販売費及び一般管理費	-20,601	-22,715	-2,114
財務費用	-2,939	-3,073	-134
持分法による投資損益	+6,240	+6,164	-76
デリバティブ関連損益(投資損益を除く)	-	-4,803	-4,803
SVF1における外部投資家持分の増減額	+5,409	-22,464	-27,873
その他の損益	-55	-445	-390
<b>税引前利益</b>	<b>500</b>	<b>56,705</b>	<b>+56,205</b>
法人所得税	-7,927	-13,032	-5,105
<b>継続事業からの純利益</b>	<b>-7,426</b>	<b>43,673</b>	<b>+51,099</b>
<b>非継続事業</b>			
非継続事業からの純利益	-581	7,109	+7,690
純利益	-8,008	50,782	+58,790
<b>親会社の所有者に帰属する純利益</b>	<b>-9,616</b>	<b>49,880</b>	<b>+59,496</b>

(億円)

## 持株会社投資事業からの投資損益 +9,459億円 (詳細はp5、8参照)

- ・Tモバイル株式売却関連利益 4,218億円
- ・引き続き保有するTモバイル株式に係る未実現評価益 2,196億円
- ・条件付対価\*1の公正価値上昇に伴うデリバティブ関連利益 2,644億円
- ・上場株式等への投資損失 2,329億円

## SVF1およびSVF2等からの投資損益 +6兆2,920億円 (詳細はp26参照)

- ・投資の売却による実現益(純額) 4,237億円
- ・未実現評価益(純額) SVF1で5兆4,781億円、SVF2で4,903億円

## その他の投資損益 +2,910億円

- ・ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンドの投資損益(純額) 1,966億円

## 持分法による投資損益 +6,164億円(YoY 76億円減少)

アリババの持分法投資利益 5,725億円 (FY19はアリババによる Ant Financial\*2 株式取得に伴う利益2,865億円を計上)

## デリバティブ関連損益(投資損益を除く) -4,803億円

2019年11月と2020年4~8月に締結のアリババ株式先渡売買契約に関するデリバティブ関連損失 5,040億円 (2020年10月・11月の契約変更による影響含む)

## 法人所得税

- ・ソフトバンク(株)やヤフー(株)で法人所得税を計上
- ・Tモバイル株式の売却に伴う法人所得税を計上
- ・アリババ株式先渡売買契約の変更に伴う繰延税金費用を計上
- ・SBKK株式の一部売却で生じた課税所得について、繰延税金資産を認識していなかった繰越欠損金を使用したことなどにより、法人所得税を利益方向に2,561億円計上 (詳細はp32参照)

スプリントの支配喪失利益 7,208億円

\*1 スプリント/T-Mobile US, Inc.合併取引の対価として受領した一定の条件を満たした際にTモバイル株式を無償で取得できる権利

\*2 Ant Small and Micro Financial Services Group Co., Ltd. (現 Ant Group Co., Ltd.) 経理編 20



税率差異	FY20	
	率(%)	金額(億円)
税引前利益		56,705
法定実効税率	31.5%	17,839
(主な税率差異要因)		
①永久差異(主に税率差異)	△22.0%	△12,479
②外国関係会社等合算所得	6.9%	3,923
③持分法投資一時差異	4.3%	2,424
④連結消去された内部取引に係る法人税等	3.8%	2,164
⑤子会社投資一時差異	△1.7%	△943
その他	0.2%	104
法人税等の負担率	23.0%	13,032



# 連結B/S総括 IFRSベース -1

B/S項目	主な科目	2020/3月末	2021/3月末	増減 (億円)
		<b>156,369</b>	<b>108,202</b>	<b>-48,167</b>
流動資産	現金及び現金同等物	33,690	46,627	+12,937
	資産運用子会社からの投資		<b>1</b> A 6,582	+6,582
	資産運用子会社における担保差入有価証券	-	B 14,273	+14,273
	資産運用子会社におけるデリバティブ金融資産	-	<b>C</b> 1,881	+1,881
	その他の金融資産	3,135	D 10,552	+7,417
	その他の流動資産	4,610	4,467	-143
	売却目的保有に分類された資産	92,360	386	-91,974
		<b>216,203</b>	<b>349,303</b>	<b>+133,100</b>
非流動資産	有形固定資産	12,645	16,686	+4,041
	のれん	39,982	<b>2</b> 46,844	+6,862
	無形資産	19,860	23,084	+3,224
	持分法で会計処理されている投資	32,404	43,500	+11,096
	FVTPLで会計処理されているSVF1およびSVF2からの投資	68,922	136,468	+67,546
	SVF1	66,817	124,033	+57,216
	SVF2	2,106	<b>3</b> 12,435	+10,329
	投資有価証券	12,115	37,068	+24,953
デリバティブ金融資産	593	9,087	+8,494	
その他の金融資産	11,007	19,193	+8,186	
	<b>資産合計</b>	<b>372,573</b>	<b>457,505</b>	<b>+84,932</b>

**1 SB Northstarからの投資に係る流動資産**  
 A: 上場株式の公正価値  
 B: 担保差入有価証券  
 C: 上場株式に係る買建コールオプションなどの公正価値  
 D: 差入証拠金147億円、拘束性預金1,118億円

アリババ株式を活用した先渡契約にかかる流動資産  
 ・拘束性預金: 3,614億円  
 (カー契約の一部を2021年4月に早期解約するために必要な資金)  
 ・デリバティブ金融資産: 3,591億円  
 (契約期限が1年以内となった契約に係るデリバティブ金融資産を非流動資産から振替)

**2 Zホールディングス(株)とLINE(株)の経営統合に伴う影響**  
 LINE(株) (子会社を含む) に係るのれん6,171億円、識別可能な無形資産 (商標権と顧客基盤の合計) 4,070億円 (支配獲得日時点)

参考: アリババ株式の簿価 3兆7,514億円 (FY20末)

**3 投資有価証券 3兆7,068億円 (2兆4,953億円増加)**  
 ・一部売却後に引き続き保有するTモバイル株式 +1兆4,744億円  
 ・ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンドの投資先の公正価値上昇および新規追加投資 +3,275億円  
 ・Social Finance, Inc., Lemonade, Inc.の公正価値上昇

以下に関するデリバティブ金融資産の増加  
 ・Tモバイル株式に係る条件付対価 4,607億円  
 ・アリババ株式を利用した複数の先渡売買契約 3,396億円

子会社がスポンサーとして設立したSPAC (当期末までに上場し、かつ事業会社との合併が未了のもの) が新規上場の際に調達した資金について、Money Market Fundでの運用残高 +3,276億円

# 連結B/S総括 IFRSベース -2

B/S項目	主な科目	2020/3月末	2021/3月末	増減
		141,911	128,910	-13,001
流動負債	有利子負債	38,452	77,352	+38,900
	リース負債	3,784	3,074	-710
	銀行業の預金	8,731	11,092	+2,361
	営業債務及びその他の債務	15,853	19,703	+3,850
	資産運用子会社におけるデリバティブ金融負債	-	147	+147
	デリバティブ金融負債	93	3,222	+3,129
	未払法人所得税	1,643	3,919	+2,276
	その他の流動負債	5,965	9,524	+3,559
	売却目的保有に分類された資産に直接関連する負債	64,550	113	-64,437
			156,932	209,039
非流動負債	有利子負債	92,867	107,777	+14,910
	リース負債	7,619	7,276	-343
	SVF1における外部投資家持分	45,597	66,018	+20,421
	その他の金融負債	772	4,154	+3,382
	繰延税金負債	7,112	20,307	+13,195
	その他の非流動負債	796	2,075	+1,279
	<b>負債合計</b>	<b>298,844</b>	<b>337,949</b>	<b>+39,105</b>

(億円)

**1 SB Northstarの有利子負債（流動）**  
 ・上場株式の取引への使用を目的とした短期借入金：+1兆2,039億円  
 ・アリババ株式を活用した借入れ（マージン・ローン）：+60億米ドル

ドイツテレコムが受領した当社保有Tモバイル株式の購入オプションに係るデリバティブ金融負債の計上 2,048億円

SBGJで生じたSBKK株式売却益などに対する未払税金相当額の計上

・SBGJからSBGへの配当に係る源泉所得税の支払見込額2,451億円  
 ・アーム全株式売却に係る前受金12.5億米ドル

**2 株式先渡契約金融負債3兆857億円（2兆8,896億円増加）**  
 2020年4月から8月にかけてアリババ株式を利用した複数の先渡売買契約を締結し、その後2020年10月および11月に一部の契約変更を実施したことに伴い、株式先渡契約金融負債が増加（流動負債を含む）  
 （4.5兆円プログラムに係る負債削減の詳細は財務編を参照）

当社子会社がスポンサーとして設立したSPAC（当期末までに上場し、かつ事業会社との合併が未了のもの）に係るスポンサー以外の出資者の持分2,981億円を金融負債として計上

主にソフトバンクグループ(株)における繰延税金負債の増加

※有利子負債とリース負債の会社別内訳は決算短信p50参照

# 連結B/S総括 IFRSベース -3

B/S項目	主な科目	2020/3月末	2021/3月末	増減
		<b>73,729</b>	<b>119,556</b>	<b>+45,827</b>
資本	資本金	2,388	2,388	-
	資本剰余金	14,903	26,185	+11,282
	その他の資本性金融商品※	4,969	4,969	-
	利益剰余金	39,458	88,104	+48,646
	自己株式	-1,016	-22,901	-21,885
	その他の包括利益累計額	-3,623	3,383	+7,006
	売却目的保有に分類された資産に直接関連するその他の包括利益累計額	2,057	3	-2,054
	親会社の所有者に帰属する持分合計	59,136	102,131	+42,995
	非支配持分	14,593	17,425	+2,832
親会社の所有者に帰属する持分比率 (自己資本比率)		<b>15.9%</b>	<b>22.3%</b>	<b>+6.4%</b>

(億円)

- ・SBKK株式の一部売却に伴う支配継続子会社に対する持分変動 +9,324億円
- ・Zホールディングス(株)とLINE(株)の統合後の新会社に対する持分減少に伴い、支配継続子会社に対する持分変動 +2,430億円を計上

① 親会社の所有者に帰属する純利益 +4兆9,880億円

② FY20の取得額 2兆2,262億円  
(内訳)  
 ・2020年3月13日の取締役会決議分 4,840億円  
 ・2020年5月15日の取締役会決議分 5,000億円  
 ・2020年6月25日の取締役会決議分 5,000億円  
 ・2020年7月30日の取締役会決議分 7,422億円

海外を拠点とする子会社・関連会社を円換算する際に生じる在外営業活動体の為替換算差額が主要な通貨の為替換算レートが円安となったことによる影響：  
+6,520億円

FY19末: スプリント非継続化 (FY20期首に連結除外)  
FY20末: Boston Dynamics, Inc.振替

- ・Zホールディングス(株)とLINE(株)の統合に伴う影響: +4,419億円
- 支配獲得日においてLINE(株)(子会社を含む)に係る非支配持分2,643億円を認識
- 統合後の新会社に対する持分減少
- ・SBKK株式の一部売却に伴う増加 1,344億円
- ・スプリント連結除外の影響 -4,247億円
- ・SB Northstar -1,529億円

※SBGが2017年7月に発行した米ドル建永久劣後特約付社債。IFRS上資本性金融商品に分類

(億円)	FY19	FY20	増減	FY20の主な内訳	
営業活動によるCF	11,179	5,573	-5,606	11,192	営業キャッシュ・フロー小計
				-2,651	利息の支払額
				-5,886	法人所得税の支払額
				2,642	法人所得税の還付額
投資活動によるCF	-42,869	-14,686	+28,183	-41,867	投資の取得による支出
				38,458	投資の売却または償還による収入
				-8,566	SVF 1 およびSVF 2 による投資の取得による支出
				8,564	SVF 1 による投資の売却による収入
				3,128	子会社の支配獲得による収入
				-3,513	拘束性預金の預入による支出
				-3,510	SPACにおける信託口座への預入による支出
財務活動によるCF	29,209	21,941	-7,268	15,753	短期有利子負債の収支
				79,651	有利子負債の収入
				-57,909	有利子負債の支出
				9,793	SVF 1 における外部投資家からの払込による収入
				-13,621	SVF 1 における外部投資家に対する分配額・返還額
				3,455	償還オプション付き非支配持分からの払込みによる収入
				15,530	非支配持分への子会社持分の一部売却による収入
				-22,262	自己株式取得による支出
現金及び現金同等物の期首残高	38,585	33,690			
現金及び現金同等物の期末残高	33,690	46,627			

## 営業CF YoY 6,025億円減少

(主な減少要因)

- ・法人所得税の支払額 YoY 6,134億円減少
- ・スプリントの連結除外 (FY19に営業キャッシュ・イン・フロー6,410億円計上)
- ・SB Northstar : 主にデリバティブへの投資における実現損失に伴うキャッシュ・アウト・フロー 5,092億円 (連結会社間の取引消去前)

## 投資の取得による支出 -4兆1,867億円

- ・保有資産の多様化と余剰資金の運用を目的としてSBGが上場株式を取得 -2兆7,054億円 (FY20Q2よりSBNSが当該投資活動を受け継ぐ。詳細はp 7-8参照)
- ・(SBKK) LINE(株)株式の取得 -2,691億円、LINE(株)社債の引き受け -7,396億円

## 投資の売却または償還による収入 +3兆8,458億円

- ・SBGが上記上場株式の一部を売却 +6,757億円
- ・Tモバイル株式の一部売却 +2兆997億円
- ・(SBKK) LINE(株)株式の売却収入 +938億円、LINE(株)社債の売却又は償還による収入 +7,396億円

LINE(株)子会社化前の取引を総額表示 (LINE(株)株式取得のための支出は純額で1,753億円)

## 有利子負債の収入 +7兆9,651億円

- (SBG) 短期借入れ +1兆401億円、国内ハイブリッド社債発行 +1,770億円 (資金調達を行う当社100%子会社)
- ・Tモバイル株式を活用した借入れ(マージン・ローン) +4,380百万米ドル
- ・アリババ株式を活用した借入れ(マージン・ローン) +8,125百万米ドル
- ・アリババ株式を利用した複数の先渡売買契約締結による調達 +15,445百万米ドル
- (SB Northstar) アリババ株式を活用した借入れ (マージン・ローン) +6,000百万米ドル

## 有利子負債の支出 -5兆7,909億円

- (SBG) 短期借入金の返済 -8,633億円、シニアローン返済 -3,924億円、社債償還 -5,576億円 (資金調達を行う当社100%子会社)
- アリババ株式を活用した借入れ(マージン・ローン)の返済 -9,444百万米ドル (SVF1)
- ・ファンド・レベル・ファシリティーによる借入れの返済 -4,976百万米ドル
- ・ポートフォリオ・ファイナンス・ファシリティーによる借入れの返済 -1,033百万米ドル

子会社がスポンサーとして設立したSAPCが新規上場により合計33億米ドルを調達 (詳細はp19参照)

SBKK株式の一部を売却

# セグメント利益 – SVF1等SBIAの運営するファンド事業

(億円)

P/L項目	FY19	FY20	摘要
<b>SVF1およびSVF2等からの投資損益</b>	<b>-18,449</b>	<b>63,575</b>	
投資の売却による実現損益	583	4,196	SVF1: 投資先5銘柄の一部株式と8銘柄の全株式を売却(株式の交換を含む): 4,242億円
投資の未実現評価損益	-19,177	58,971	
当期計上額	-18,777	60,134	FY20末に保有する投資の未実現評価益(純額) SVF1: 5兆5,231億円(52,186百万米ドル) ・上場投資先: 合計40,507百万米ドル ・非上場株式: 合計11,679百万米ドル SVF2: 4,903億円(4,633百万米ドル) 主にKE Holdings Inc.などの株価上昇を反映し、上場株式について合計 4,671百万米ドル (詳細は決算短信p31-32参照)
過年度計上額のうち実現損益への振替額	-400	-1,163	当期に売却した投資に係る未実現評価損益の過年度計上額を「投資の売却による実現損益」に振り替えた金額
投資先からの受取配当金	128	298	
投資に係るデリバティブ関連損益	1	11	
為替換算影響額	15	98	
販売費及び一般管理費	-865	-742	SBIA、SVF1とSVF2の管理費用
財務費用	-235	-104	ファンド・レベル・ファシリティーおよびポートフォリオ・ファイナンス・ファシリティーの返済に伴う借入残高の減少に伴い、FY20の支払利息が減少
SVF1における外部投資家持分の増減額	5,409	-22,464	SVF1からの投資損益からSBIAへの管理報酬および成功報酬、SVF1の営業費用ならびにその他の費用を控除した金額を、持分に応じて外部投資家に分配した成果分配額および固定分配額の合計
その他の損益	14	4	
<b>セグメント利益(税引前利益)</b>	<b>-14,126</b>	<b>40,268</b>	

# Appendix



- FY20Q1より新たに「投資損益」を表示
- 営業利益を取り止め

- スプリント/T-Mobile US, Inc.の合併完了でスプリントが子会社から除外され**連結業績全体に占める投資損益の重要性が一層高まった**



- 「投資損益」の区分を新設し**P/Lで投資の成果を明示**
- 「投資損益」には①～④を含む
  - ① 投資有価証券(FVTPLの金融資産)や持分法で会計処理されている投資の売却による実現損益
  - ② FVTPLの金融資産の未実現評価損益
  - ③ 投資先からの受取配当金
  - ④ FVTPLの金融資産などの投資に係るデリバティブ関連損益

## 表示変更後のP/L

売上高

売上総利益

投資損益

- 持株会社投資事業からの投資損益
- SVF1およびSVF2等からの投資損益
- その他の投資損益

- 販売費及び一般管理費
- 財務費用
- 持分法による投資損益
- デリバティブ関連損益(投資損益を除く)\* ほか

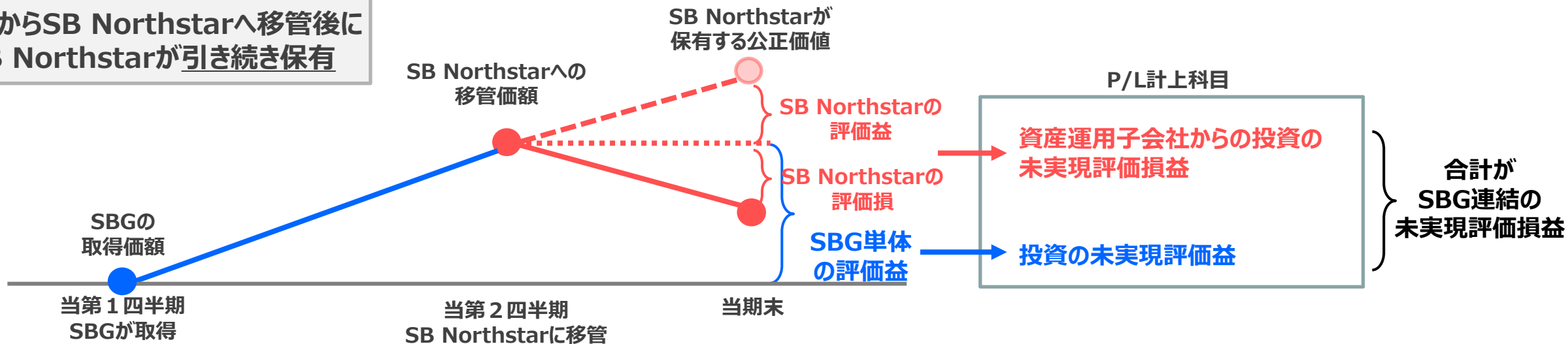
税引前利益

親会社の所有者に帰属する純利益

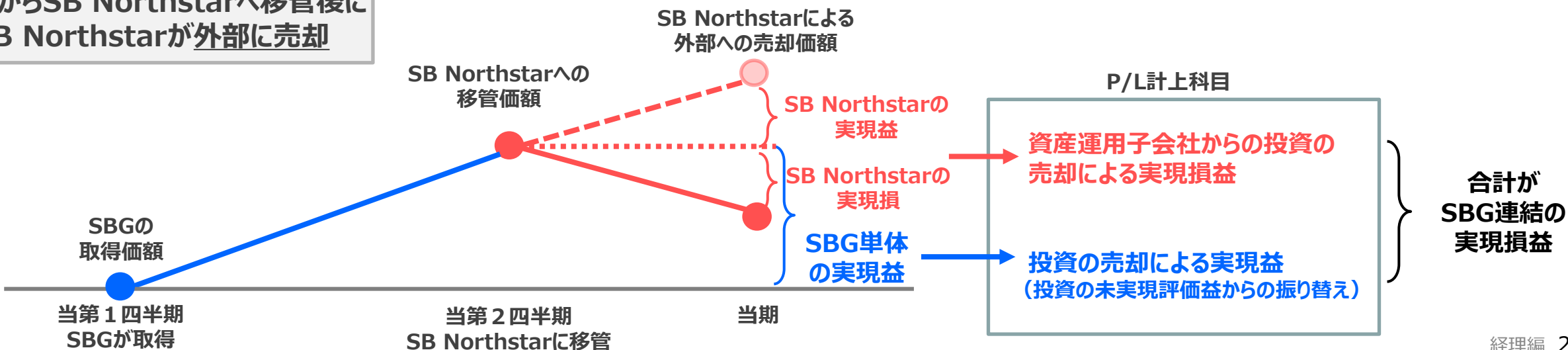
※投資損益に含まれないデリバティブ関連損益は「デリバティブ関連損益(投資損益を除く)」として表示

# SBGからSB Northstarへ移管した上場株式に係る投資損益のP/L表示

SBGからSB Northstarへ移管後に  
SB Northstarが引き続き保有



SBGからSB Northstarへ移管後に  
SB Northstarが外部に売却





# 資産運用子会社のSBG B/Sへの影響\*1

(億円)

	2021年 3月31日		2021年 3月31日
現金及び現金同等物	2,213	有利子負債	18,665
資産運用子会社からの投資	7,553	資産運用子会社におけるデリバティブ金融負債	147
資産運用子会社における担保差入有価証券	14,273	その他	192
資産運用子会社におけるデリバティブ金融資産	1,881	<b>負債合計</b>	<b>19,004</b>
その他の金融資産	1,265	Delaware子会社（以下に定義）からの出資*2	13,490
その他	142	SBGからDelaware子会社への現金出資相当額	398
		SBGからDelaware子会社への貸付相当額 (SBGからの運用委託金)	12,893
		孫正義からDelaware子会社への現金出資相当額	199 A
		利益剰余金	△5,063 B
		為替換算差額	△104
<b>資産合計</b>	<b>27,327</b>	<b>純資産</b>	<b>8,323 C</b>

\*1 SBGからDelaware子会社を経由してSB Northstarへ現物出資したアリババ株式の影響およびSB NorthstarからSBIA子会社のSPACへの投資の影響を除いたSB Northstarの財政状態計算書

\*2 当社の子会社であるDelaware Project 1 L.L.C.、Delaware Project 2 L.L.C.およびDelaware Project 3 L.L.C.（以下「Delaware子会社」）から資産運用子会社であるSB Northstarへの出資額

## ■非支配持分の計算

孫 正義からDelaware子会社への現金出資相当額	199	A
非支配持分損益	△1,687	Bの1/3
為替換算差額	△41	
<b>非支配持分（孫 正義の持分）</b>	<b>△1,529</b>	<b>D</b>

## ■純資産に対する持分

SBGの持分	9,852
非支配持分（孫 正義の持分）	△1,529 D
<b>純資産</b>	<b>8,323 C</b>

# のれん・無形資産の内訳

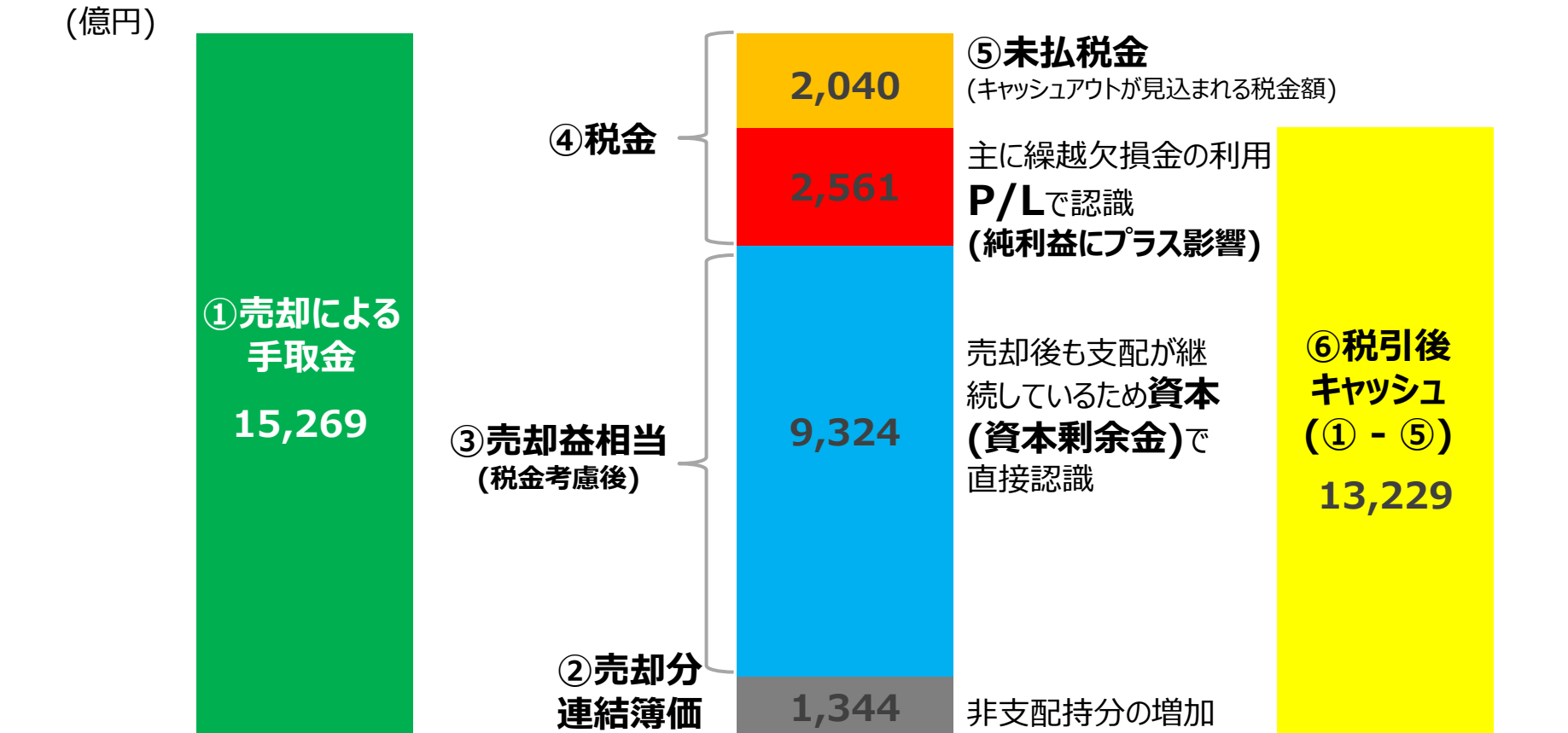
B/S 項目	主な内訳	2020/ 3月末	2021/ 3月末	増減			摘要
				償却費	為替変動	その他	
		<b>39,982</b>	<b>46,844</b>				
のれん *1	アーム	25,541	26,327	-	+786	-	ISGを含む
	SBKK	9,075	9,075	-	-	-	
	ZOZO	2,129	2,129	-	-	-	
	LINE	-	6,171	-	-	6,171	新規計上
	<b>テクノロジー</b>	<b>3,956</b>	<b>3,681</b>				
主な無形資産	主な内訳						
	アーム	3,878	3,617	-365	+104	-	定額法 償却年数:8-20年
	<b>顧客基盤</b>	<b>4,747</b>	<b>6,749</b>				
	ZOZO	3,167	3,036	-131	-	-	定額法 償却年数:18-25年
	LINE	-	2,369	-	-	-	定額法 償却年数:12-18年
	アーム	1,033	957	-109	+34	-	定額法 償却年数:13年
	<b>商標権</b>	<b>2,211</b>	<b>3,852</b>				
	ZOZO	1,787	1,787	-	-	-	
	LINE	-	1,700	-	-	-	
	<b>マネジメント契約</b>	<b>462</b>	<b>332</b>				
フォートレス	462	332	-133	+3	-	定額法 償却年数:3-10年	

\*1 SBGによる支配獲得時に認識したのれんの金額。支配獲得後に当該子会社が行ったM&Aの結果認識したのれんは含まない

※アームはFY20Q1に機能通貨を英ポンドから米ドルへ変更

# SBKK株式一部売却の会計処理と税引後キャッシュ

- 2020年5月と9月に、SBGJ(ソフトバンクグループジャパン(株))を通じて保有するSBKKの普通株式**合計12.7億株**を売却し、**合計1.5兆円**を受領
  - ✓ 5月、2.4億株(所有割合5.0%)を3,102億円で売却
  - ✓ 9月、10.3億株(所有割合21.7%)を1兆2,167億円で売却
- 売却後の所有割合: 40.2%**。SBKKは引き続き当社の子会社



※グラフ中の数値は5月と9月の売却の合算値